

天高く 雄雌の綱舞う

大山区大綱引き



約300年以上の歴史がある大山区大綱引きが、7月30日（日）、大山小学校グラウンドで開催された。五穀豊穡、地域の繁栄を願う同大綱引きは、全長約70m、重さ約3tの綱を使用。前村渠と後村渠に分かれた区民らにより、力をぶつけあつた。

綱引きの前には、道ジュネーや旗頭のガーエー（競い合い）、同区大綱引きの特徴でもある、六尺棒で綱を持ち上げぶつけ合う、アギエー（揚げ合い）が行われた。アギエーは後村渠が勝利、綱引きは前村渠が勝利した。区内外から多くの観客が集まり、迫力ある綱引きの様子に大興奮、会場は熱気に包まれた。



①六尺棒で綱を空高く揚げ、ぶつけ合う勝負「アギエー（揚げ合い）」。

材料のワラから全長35mの雌綱・雄綱を作る。綱協力会による勉強会も開催され、後輩の育成にも力を入れている。

②・③道ジュネーを盛り上げる婦人会の皆さん。

④・⑤子ども会による鳴り物で道ジュネーを盛り上げる。

⑥・⑦道ジュネーをしながら綱引き会場である大山小学校へ運ぶ。

⑧綱を力いっぱい引き合う参加者。

⑨・⑩住民一丸となり、

写真愛好家も訪れる。

カナキ棒で繋がれた雌雄の綱

